

Waseda Vision 150 本庄高等学院の将来構想の進捗状況報告

| |
|--|
| 基本理念 |
| <p>地域の特色を活かした「森に想い土に親しむ」教育を一層発展させた「大久保山学」をテーマに、教科横断型の教育・研究を通じて、社会の各分野で活躍できるリーダーを育成する。</p> |
| 2013年度報告 |
| <p>I. 教育内容の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度から卒業論文の提出時期、推薦学部決定時期を早めることを決定した。 ・2014年度入学生から数学に落ちこぼれの生じない補習実施を決定した。 ・2015年度入学生から文・理に重点を置く新教育課程を導入することを決定した。 ・入学試験における危機対応を整備した。 <p>II. 高大連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治経済学部と英語教育を中心に協議を重ね、推薦条件を検討し推薦枠拡大を合意した。 ・法学学術院、文学学術院、理工学術院と教育内容等について協議した。 <p>III. プロジェクトの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「早稲田稲作プロジェクト」を実施した。 ・WAVOC 東日本大震災復興支援「どんぐりプロジェクト」に参加した。 http://www.waseda.jp/wavoc/support/introduce/shouyouju.html ・スーパーサイエンスハイスクールとして各種プログラムを推進した。12月に海外6校、国内6校の高校生を招き早稲田国際科学技術シンポジウム（WaISES2013）を開催した。 http://www.waseda.jp/honjo/honjo/ssh/ <p>IV. 学校環境整備と広報戦略の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎内に本庄キャンパス出土物展示コーナーを設置した。 ・大隈重信胸像および教旨碑をドミトリ・共通教室棟前に移設した。 ・90-7号館の改修工事が決定。図書室、音楽教室等、稲稜ホール（428席）が2015年から使用できることになる。 ・HPをリニューアルし、オリジナルグッズの「この付近まむしに注意」クリアファイルを発売した。 ・カインズ本社を訪問し、今後の協力について話合った。 |

2014年度計画

I. 教育内容の検討

- ・2014年度入学生に対し所定水準へ達するまでの数学補習を実施する。
- ・全科目の授業シラバスを作成する。
- ・教育課程、進学・進級基準、選択科目の検討を継続し、大学が求める人材を育成し基礎学力の質を保证するカリキュラムを編成する。
- ・2015年度入学生から適用する新教育課程を確定する。
- ・修学旅行のあり方を検討する。
- ・Waseda Vision150の数値目標に沿った生徒のジェンダー・バランスと、その実現のための入試戦略を検討する。

II. 高大連携の進展

- ・法務キャリアを志望する生徒の発掘を、法学大学院と協力・連携して行う。

III. プロジェクトの実施

- ・「早稲田稲作プロジェクト」を継続する。
- ・WAVOC 東日本大震災復興支援「どんぐりプロジェクト」を継続する。
- ・スーパーサイエンスハイスクールの各種プログラムを推進し、早稲田国際科学技術シンポジウム (WaISES2014)を開催する。

IV. 学校環境整備と広報戦略の展開

- ・90-7号館の改修工事。
- ・30周年記念教育環境整備・充実事業募金最終年度の取り組みの強化。
寄付者銘板の設置と、稲稜ホール座席に顕彰プレートを設置。
- ・HPを主軸とするリアルタイムの積極的な情報発信を継続する。
- ・新しい入試戦略を検討する。
- ・新体育館建設を軸に、創立40周年（2022年）までのロードマップを作成する。

↓

本庄という立地・環境や、生徒寮（早苗寮）を併設するという条件を活かし、
早稲田大学附属の男女共学高校というユニークな価値をもった学院像を確立する。
学院に対する生徒の満足度の高さを維持し、早稲田への愛着の強い生徒を育成する。
全国（地方）、海外からも、幅広く多様な生徒を受け入れる。

